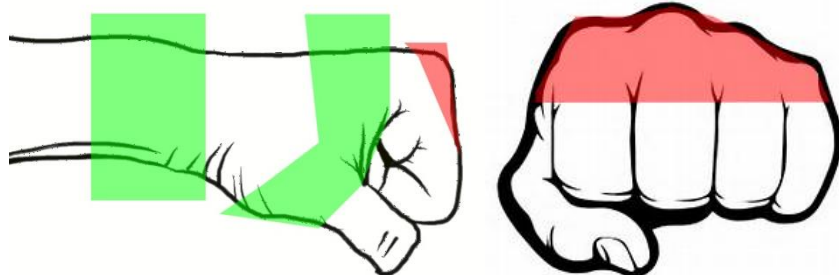


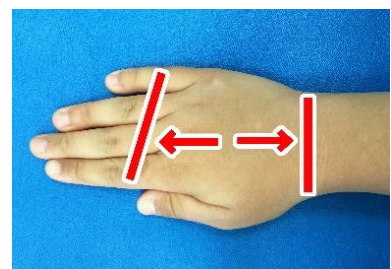
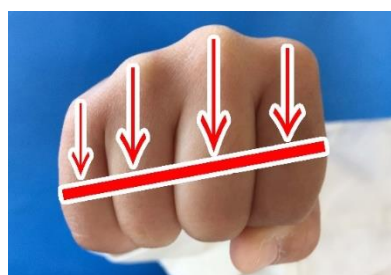
## テーピング



赤色箇所はインスペクターのチェックを受ける。  
緑色箇所はチェックの必要なし。

- ①強化の為のテーピングをしてはならない。
- ②基本裂傷防止などを目的としていること。
- ③インスペクターチェックを受けていないテーピングは認めない。

## 拳サポーター グローブ



拳サポーターは、手首より第2関節にかけて指の半分を覆っている事。

拳を握った状態で拳頭から第2関節の半分まで隠れなければならない(写真参照)。

また劣化によりズレて競技に支障を起こすようなサポーターは認めない。サポーターの厚みは拳頭部分で15mm以上の厚みがなくてはならない。

グローブは、支給されたものを使用する事。

テーピングは拳の保護を目的としており拳頭部分の強化と見受けられる物は認めない。

バンテージの使用は認めない。

拳闘部分を潰して固くするなどの加工が施してある防具でコートに入場した場合は、発見次第減点1が与えられる。

## スネサポーター ヒザサポーター



ネサポーターは膝下から背足部分(足の甲)にかけて全てをカバーしている事。背側部分は中足指関節まで隠れていること(写真参照)。

サッカーで使うシンガード等の使用は不可。膝サポーターとスネサポーターの間に隙間を作らない事。

サポーター厚みは15mm以上の厚みがなくてはならない。またコート入場時に故意にずらしたり加工していると審判が判断した場合は減点1が与えられる。

## インナーチェスト ヘッドガード ファウルカップ アンダーガード 空手衣



インナーチェストは胸部まで保護している物のみ認める。腹部まで保護しているサポーターの使用は認めない。またインナーチェストの下に硬質のプロテクターや詰め物をして強化をしない。

ファウルカップ、アンダーガードは必ず道衣の下に着用する。ヘッドガードは基本主催者貸し出しの物を使用する。金網ヘッドガードであれば個人所有の物でも可



空手衣各流派の正装を使用する事。帯は腰骨より上でしっかりと締め競技中に解けないようにする事。また一般部Aクラス、エキスパートクラスに出場する選手はマウスピースを必ず用意する事。